

		ボタンクリック後も同一の問題を表示したまま で次の問題への移動はしない。
9	終了	この画面を閉じ、メインメニューに戻るボタ ン。

図3 画像の一覧画面

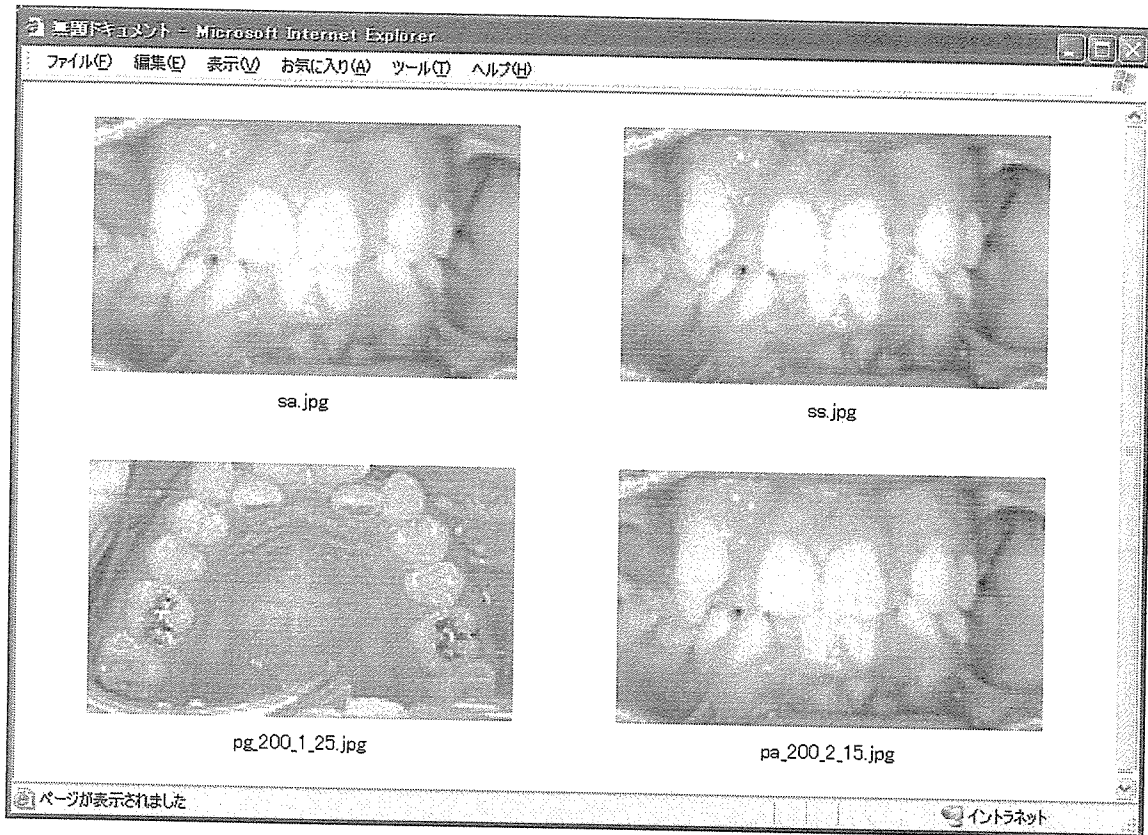


図4 歯式入力画面

歯式入力画面

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

E	D	C	B	A	A	B	C	D	E
E	D	C	B	A	A	B	C	D	E

リセット 確定して問題作成画面に戻る キャンセル

* 確定するとクリックした歯式文字列(例 <歯式>右1/<歯式>等)が前画面の文章中に挿入されます。
 * 5個以上の連続する歯式は“~”に変換されます。(例 87654 → 8~4)

・連続した4個までは番号通りに展開 (例)「8765」→「8765」

・連続した5個以上は端の2文字を残し、その間の文字を1つの「~」に変換 (例)「87654」→「8~4」

※左右にまたがるときも同じルールとする。

また、「~」は現状、歯科テキスト公募検索システムでは登録対象となっていない。(登録時にエラーとなる。)このため、次年度以降に「~」を入力された場合の変換ソフトウェアの改造が必要となる。現状「~」変換の機能は作成を行うが、無効の設定にて作成する。次年度以降、変換ソフトウェアの改造後に有効の設定することで、問題入力ソフトウェアは改造なしで、設定の変更のみで利用可能とすることとする。また、本機能無効時は「*5個以上の連続する歯式は“~”に変換されます。(例 87654 → 8~4)」表示は表示されないこととする。